

# GLOBAL TIMES VOL.10

能勢高校のスーパーグローバルハイスクール（SGH）の取組みは、今年度で4年目に入りました。この事業では、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身につけ、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としています。活動は右図の通り4つの講座から構成されています。1年生は、グローバルスタディー（GS）課題探求基礎講座として、このSGH活動を継承し、学習活動を行います。

Super  
Global  
講座

●基礎知識講座

●重点分野講座

●英語特別講座

●課題研究（海外研修）

## 国内・海外実態調査報告

モンゴルでの支援活動、国内での地域活性化の取組みなどから、SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」について学び、グローバルな視点を持った地域貢献活動について課題の発見と解決を考えるために、国内・海外実態調査に行きました。

### ●海外実態調査（モンゴル）●

海外実態調査として、スーパーグローバル（SG）重点分野講座を受講する2年生8名が、8月4日（土）～10日（金）の7日間、モンゴル（首都ウランバートル）を訪問しました。



**2日目** ウランバートル北側ゲル地区の先にある、トルゴイト地域づくりセンター（TCDC）が主催する子どもキャンプに向かいました。小中学生やスタッフを前に通訳を交えて、英語でプレゼンテーションを行いました。午後からは子どもたちに羊毛の糸紡ぎを教えたり、フェルト作りを教わったりしながら、コミュニケーションを図りました。



**3日目** TCDCの事務所を訪問しました。能勢高校の長年のチャリティーにより設立された民族楽団の歓迎演奏を受けた後は、プレゼンテーションを行い、意見交換、TCDCの活動についてのインタビューを行いました。また、ゲル地区にある家庭も訪問しました。午後はウランバートル郊外の大草原にあるツーリストゲルキャンプに向かい、乗馬を体験し、ゲルに宿泊しました。



**4日目** 再びウランバートルに戻って、午後からモンゴル政府機関「子どもの権利委員会」を訪問する予定でしたが、残念ながら手違いがあったため、急遽予定を変更し最終日の訪問予定であったウールショップへ行き、モンゴルの手工芸品に触れました。

**5日目** ラジブ・ガンジー芸術生産カレッジで、代表のバヤルク先生よりカレッジの説明を受け、スタッフや学生達を前にプレゼンテーションを行い、その後、グループに分かれてディスカッションを行いました。午後からはゲル地区にある「魔法の国」に向かいました。虐待や貧困により支援が必要な子どもたちを保護するこの施設で、子どもたちに羊毛から紡いだ糸を使った手編みのミサンガ作りを教えました。そして、施設スタッフに英語でプレゼンテーションを行い、課題研究に活かせるアドバイスをいただきました。最後に施設副代表のテルメンさんに、施設内を案内していただきました。



**6日目** セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンのモンゴル事務所を訪問しました。モンゴル人スタッフにプレゼンテーションを行い、またインタビューを行いました。スタッフの熱い思い感じ、また、様々な活動を知ることができました。午後からは、「魔法の国」のテルメンさんが経営するカフェを訪れ、遊牧民の生活や伝統的な遊び、モンゴルでの養蜂についてなどの話を聞きました。



また、今回の調査の最後に、通訳としてツアーに同行してくれていた大学生のガナーさんから、現在のモンゴルの若者の視点から見たモンゴル文化と生き方について、お話を聞くことができました。

7日間と短い日程でしたが、授業で学んだことを実際に自分達目で見て現地の人と話ができたことは、大きな収穫となりました。

## ●国内実態調査（鳥取）●

国内実態調査として、8月20日（月）～23日（木）の4日間、スーパーグローバル(SG)重点分野講座を受講する2年生5名とグローバルスタディー(GS)課題探究重点講座を受講する1年生4名が、鳥取県を訪問しました。

**1日目** 公立鳥取環境大学に到着し、中橋教授より地方創生に関する講義を受けました。その後、今回の実態調査の目標と自分たちが考える地方創生についてのプレゼンテーションを行い、具体的なアドバイスを受けました。午後は鳥取県庁を訪問し、職員の方から県の「星空プロジェクト」についてお話を聞きました。

**2日目** 鳥取市西郷地区の工芸の郷で、村づくり計画や工芸の郷での取組み、陶芸家の思いなどを聞き、また、人間国宝の陶芸家とお話することもできました。夕刻、再び鳥取県庁を訪問しました。『(鳥取県には)スタバはないけど、日本一のスナバ(砂場)はある』の名言で有名な平井知事と面談し、県の地域活性化策につ

いて、たくさんお話しをうかがうことができました。その後、県庁職員の各担当者の方より、こちらの多くの質問に丁寧な回答をいただきました。

**3日目** 鳥取大砂丘観光協会で、鳥取砂丘やジオパークについての取組みについて説明を受け、実際に砂丘に行き地元の中学生在が作った砂像を見学し、またジオパークの山陰の海岸を船から観察しました。その後、砂の美術館を訪問し、副館長から、砂の美術館の始まりから現在、そして今後の課題について、説明していただきました。

**4日目** 「ゲゲゲの鬼太郎」で地域活性化に取り組む境港市を訪問しました。境港市観光協会の方から、漁港しかなかった町からいかにして水木しげるロードが作られ有名になったかなどの取組みを聞き取り調査しました。公立鳥取環境大学の中橋先生に大変お世話になり、想像以上に充実した実態調査を進めることができました。



## 講座と講師の紹介

### ●1年GS 課題探求基礎講座

**第1回 5/17(木)『地域エネルギー会社による“地域活性化”と“エネルギー転換”』**

●川又 孝太郎 さん(在ドイツ日本国大使館参事官)

風力発電、太陽光発電など、再生可能エネルギーとそれを取り巻く環境、諸条件など、ドイツと日本のエネルギー転換を比較しました。そして、ドイツの自治体出資の地域エネルギー会社「シュタットベルケ」の紹介があり、能勢町でも再生可能エネルギーを増やすことができるかなどについて、グループ討論を行いました。人口減少の問題を抱える地元能勢町で、再生可能エネルギーの活用を考える有意義な講演でした。

**第2回 6/25(月)『ビジネスプラン』**

●比留間 大輔 さん(日本政策金融公庫大阪創業支援センター所長)

9月に行われる「ビジネスグランプリ」のエントリーに向けて、ビジネスプランを考える上でのノウハウを学びました。高校生ならではの発想力で、社会に一石を投じるユニークなプランを考えます。

### ●2年SG 基礎知識講座

**第1回 4/27(金)『JICA 関西訪問』**

●遊川 章宏 さん・植山 明日香 さん(JICA 関西職員)

事前に授業で数時間の学習を経て、2年生の春の校外学習にて JICA 関西を訪問しまし



た。遊川さんからは JICA についての説明があり、日本の抱える問題として、食料自給率が低いこと、開発途上国への依存度の高さがあることを知りました。植山さんからは実際に青年海外協力隊員として、マレーシアへ障がい者支援に行った体験を聞きました。

## 第2、3回 6/7(木)『外国文化を知る』

### ●カオファンさん、大城 伊織さん、イマンさん

本年度のタイからの長期留学生カオファンさんが母国について、2年生大城さんはフィリピンでの短期留学体験をそれぞれプレゼンテーションしました。また、6月28日(木)には短期留学生イマンさんが出身国マレーシアについてプレゼンテーションしました。同じ高校生の視点による発表に、より国際交流を身近に感じることができました。



## 第4回 7/4(水)『マレーシアの歴史と文化、パームオイルとボルネオの環境保全活動』

### ●小辻 昌平 さん(サラヤ株式会社 CSR 推進部長)

人と地球にやさしい「ヤシノミ洗剤」はパーム油から作られています。生産国であるマレーシアで、そのために起こる環境破壊から自然をどう守っていくかというサラヤの企業理念を聞くことができました。

### ●2年 SG 重点分野講座

## 第1回 4/12(木) SG重点分野講座オリエンテーション

## 第2・3・4・5・6・11・15回

### 『モンゴルの文化・歴史・社会』～貧困とストリートチルドレン～

### ●今岡 良子 さん(大阪大学言語文化研究科准教授)

4月19日(木)より、「スーパーグローバルスタディー(SGS)」にて、『モンゴル 貧困とストリートチルドレン～自立的な地域社会の構築と相互連携～』をテーマに、モンゴル地域づくりセンター、NGOの活動などについて課題研究を進めています。講義やワークショップを通して、グローバルな視点で課題解決に臨んでいます。



## 第7回 5/31(木)『日本における子どもの貧困を考える』

### ●松村 幸裕子 さん(NPO暮らしづくりネットワーク北芝 職員)

松村さんは、箕面市萱野で貧困問題に取り組む活動を行っています。収入があっても生活はできるがやりたいことがあっても諦めざるを得ない“相対的貧困”という、日本が抱える貧困問題についての講演とワークショップを行いました。豊かな人生選択ができる大人になることをめざすために、私達にできることは何かを考える時間となりました。



## 第8回 6/7(木)『日本と世界の地域活性化』

### ●齊藤 俊幸 さん(総務省 地域再生マネージャー)

26才でコスタリカに渡り1年間仕事をし、帰国後すぐに起業した自身の体験などを交えてお話をいただきました。日本の人口の3割が都市部に集中し、地方の多くが人口減少問題を抱える中、地方創生が日本を元気にするキーワードとなり、そのために必要なものは“エンパワーメント(Empowerment)”であるとの講演内容でした。地域の活性化と自分の将来を繋げて考えるきっかけとなりました。



## 第9・17回 6/9(土)、7/21(土)『日本と世界の養蜂について』

### ●脇谷 英征 さん(本校農場技師)、松田 嘉織 さん(本校農業科教諭)

ハチの種類、習性、養蜂について詳しく学び、本校農場の養蜂場にて、ハチの巣箱を開けて、西洋ミツバチの観察や養蜂の作業を行いました。モンゴル訪問前には実際にハチミツの採集・ろ過・瓶詰めを体験しました。

## 第10回 6/12(火)『Save the Children Japan の活動について』

### ●伊藤 愛 さん(Save the Children Japan (SCJ) 大阪事務所)

セーブ・ザ・チルドレンはイギリスで約100年前にスタートしたNGO団体で、現在約120ヶ国で子どもの支援・救済活動を展開しています。今回はSCJのモンゴルでの活動についてお話をいただきました。伊藤さんは、「それぞれの立場で協力していくこと」、「伝えることが大切、まずは関心を持ってもらうこと」の2点が重要であると強調されました。



第12・14・16回 6/19(火)、28日(木)、7/17(火)『綿から布へ』

●松岡 茉莉花 さん(「けせら工房 わたんぼ」主宰)

松岡さんの講演とワークショップで、糸紡ぎから糸の染色、その糸からのミサンガ作りを行いました。身の回りにあるものを自分の手で作るという貴重な経験となりました。この技術はモンゴルでの実態調査でもモンゴルの子どもたちに伝えました。



第13回 6/21(木)『但東町と斉藤牧場 なぜ食料を作っている人が食べていけなくなったのか』(1限目)

●今岡 良子 さん(大阪大学言語文化研究科准教授)

兵庫県但東町の農家を取り上げ、日本における農業の近代化の流れと、問題について学びました。

『能勢町の地域福祉を取り巻く環境～地域共生社会の実現に向けて～』(2限目)

●大植 さん、菊池 さん、花咲 さん(能勢町健康福祉部福祉課)

大植さん、菊池さんから、能勢町の地域福祉を取り巻く環境、能勢町の人口推移、子どもの貧困について説明がありました。花咲さんからは、「能勢町における地域共生社会の実現に向けて」と題してお話があり、能勢町での少子高齢化への対策として、地域共生社会の実現が大切だと学びました。



●3年 SG 基礎知識講座

第1回 6/7(木)『インプロ』

●月田 有香 さん(インプロ“即興劇”講師)

月田さんはインプロ(即興劇)を通して自己啓発力を高める様々な活動を展開しています。3年生全員が班に分かれ、それぞれが与えられたお題で即興劇を披露するワークショップを行いました。考え発表する力、表現力、感情力、コミュニケーション力を養いました。



## 校外学習・国際交流

### ■東亜マイスター高校と交流

5月14日(月)、韓国・大田広域市の東亜マイスター高校から男子学生38名が来校し、本校生徒と交流会を行いました。お互いに代表が挨拶を交わし、記念品を交換した後、両校が紹介のプレゼンテーションを英語で行い、その後自己紹介やゲームを行って交流を深めました。



### ■公立鳥取環境大学訪問! 英語村、中橋教授ゼミ

7月24日(火)、2年SG重点分野講座生15名と1年生GS課題探究重点講座生13名が公立鳥取環境大学を訪問しました。午前は、大学英語村にて英語で自己紹介をした後、能勢高校の紹介を英語でプレゼンテーションしました。その後、BINGOを模した単語ゲームなどで英語に親しみました。午後は、中橋文夫教授ゼミにて、ゼミを専攻している大学生たちを前に2年生が研究課題のプレゼンテーションを行い、交流を図りました。



マレーシアへ長期留学中です! ~アスタ高校からの便り~

by 齊藤 依乃里



左が私です。  
旗を振っているのが私です↓。

留学生活もあと3ヶ月となりましたが、充実した留学生活を送っています。毎日楽しく過ごしています♪

5月にはイスラム教のラマダン(断食月)が明けたことを盛大に祝う、ハリヤヤというお祭りがあり、学校もお休みでした。プトラマレーシア大学のファラ先生にモスク(イスラム教寺院)に連れて行ってもらい、貴重な体験となりました。8月31日はマレーシアの独立記念日で、学校全体でお祝いをしました。クラスごとに独立記念のパフォーマンスをし、私のクラスが優勝しました。マレー語の歌を覚えるのは大変でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました

残りの留学生活も一日一日を大切に過ごしたいと思います。



SGH中間発表 11月7日(水) 於:本校体育館  
受付 12:30~ 発表 12:55~14:00 ぜひお越しください!!